

陳情第51号	受理年月日	平成26年3月17日
付託委員会	総務財政委員会	
陳情者	八幡東区尾倉三丁目3-22 八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会 代表 三崎 英二 (署名79人)	
件名	八幡市民会館の存続について	
要旨	<p>2月議会において、市立八幡病院の移転に伴い八幡市民会館と八幡図書館の廃止を求める発言が行われたことを大変残念に思っている。私たちは八幡東区の歴史を大切に受け継ぎ、豊かな文化あふれるまちづくりを願っている。八幡東区は、戦時中に米軍のたび重なる空襲で焼け野原になったが、戦後の復興にいち早く立ち上がり、全国に先駆けて都市インフラが整備された先進的な都市である。八幡市民会館や八幡図書館は、その象徴として日本有数の建築家の手によって建てられたものであり、市内でも数少ない都市景観を誇る八幡駅前通り、ロータリーの平和の像モニュメント、皿倉山などと見事に融合している存在である。</p> <p>八幡市民会館については、著名な建築家である村野東吾の設計によるものであり、外観、内装ともに比類ないすぐれた構造と設備となっている。大ホールは反響がすばらしいと専門家からも称賛されている有名なホールで、演技者や観客への配慮が際立っている設計と構造であり、市内の他施設のホールなどと比べてもすぐれていると言える。更に、美術展示室や工芸教室、染色教室などは、市内各地から会員が参集し、多数のクラブが活発に活動しており、市内でも重要な文化創造の拠点になっている。また、公共交通や駐車場等の利便性も他施設よりすぐれていると評価されている。</p> <p>このようにすぐれた建築物であって、有効に使われ実績のある文化の拠点を守り、八幡東区のまちづくりが発展することを願っている。</p> <p>については、八幡市民会館を存続させていただきたい。</p>	